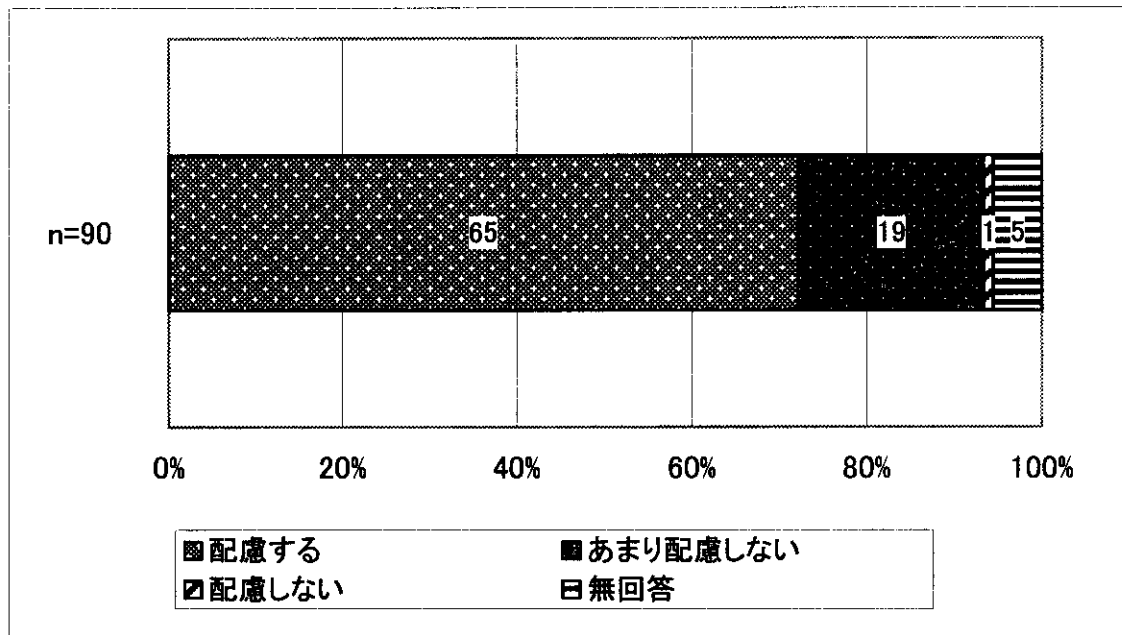
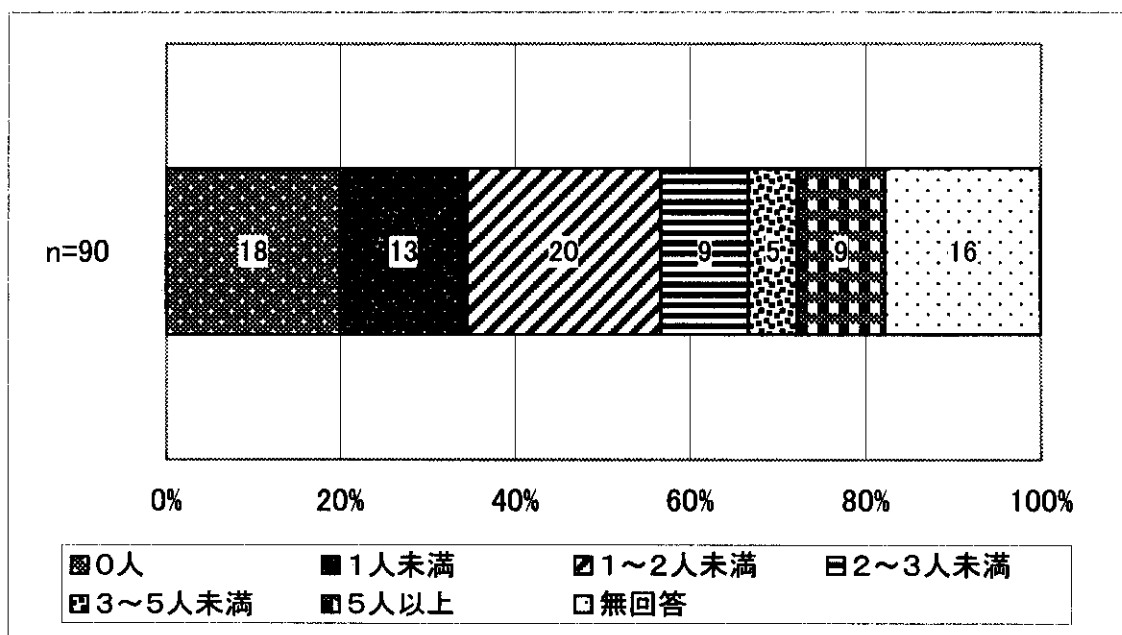


Q 5 患者の家族に対する教育への配慮



患者に教育する場合、家族に対する教育にも配慮するか否かについては、「配慮する」が72.2%と多く、「あまり配慮しない」は21.1%となっている。

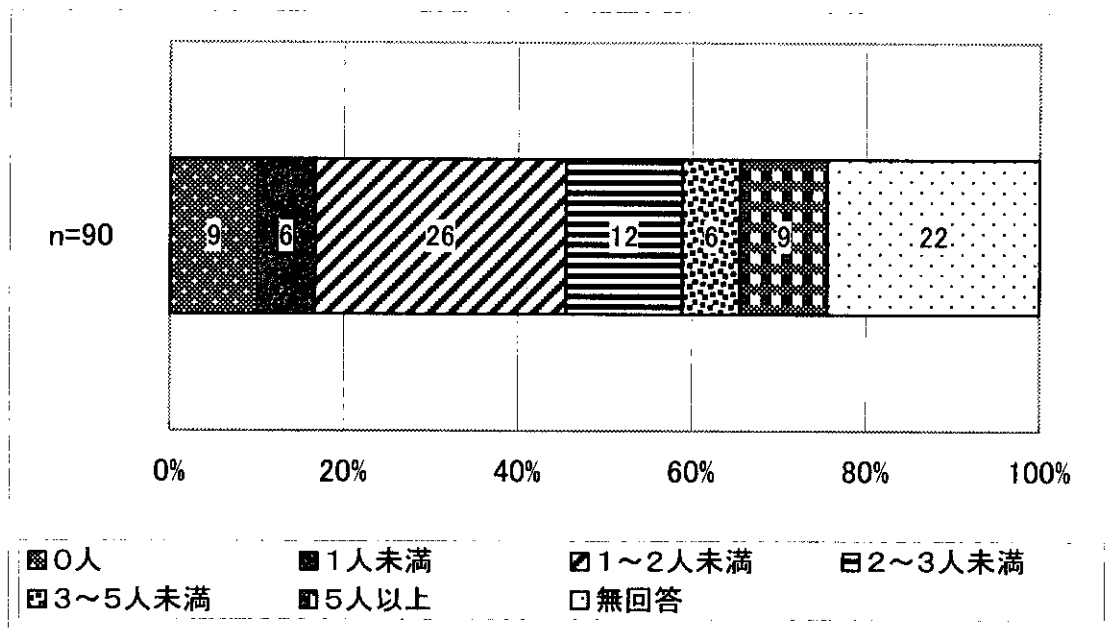
Q 6 ① 1ヵ月間の他院内科への紹介患者数 調査数 74 平均 2



1ヵ月間の他院内科への紹介患者数は、「1~2人未満」が22.2%、「0人」が20.0%、「1人未満」が14.4%などとなっている。平均患者数は2.0人である。

Q 6 ② 1 ヶ月間の他院眼科への紹介患者数

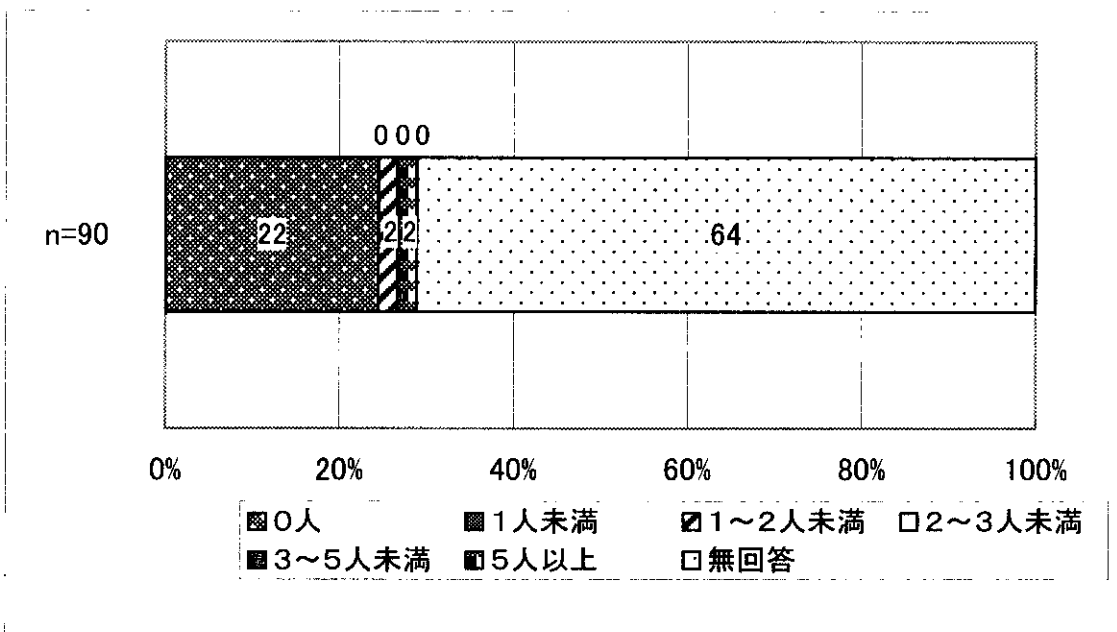
調査数 平均
68 2.8



1 ヶ月間の他院眼科への紹介患者数は、「1~2人未満」が28.9%、「2~3人未満」が13.3%などとなっている。平均患者数は2.8人である。

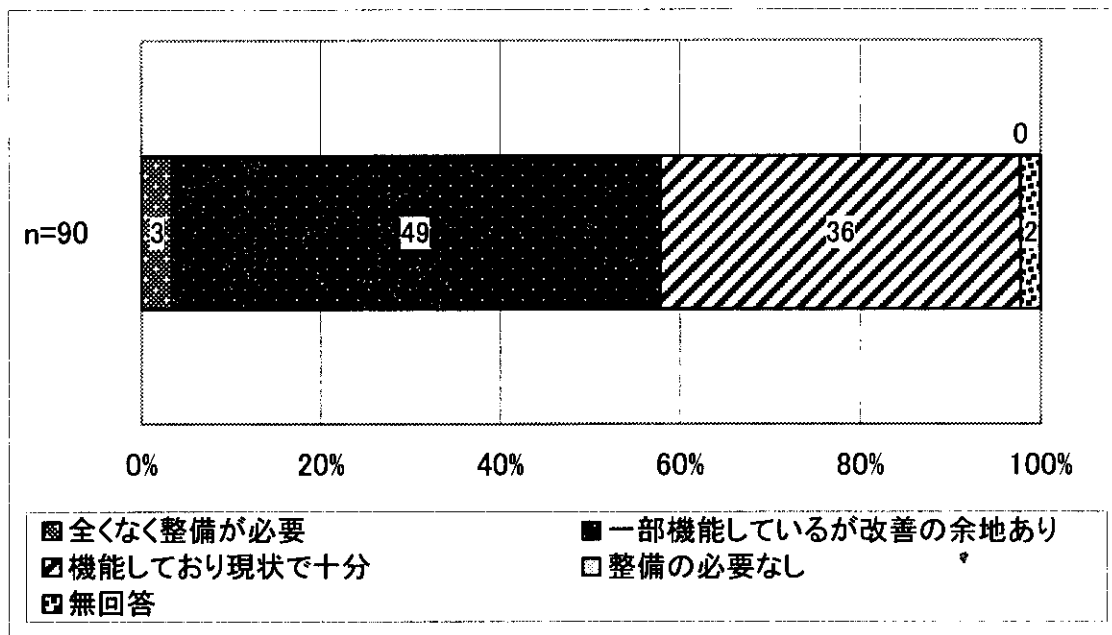
Q 6 ③ 1 ヶ月間の院内眼科への紹介患者数

調査数 平均
26 0.7



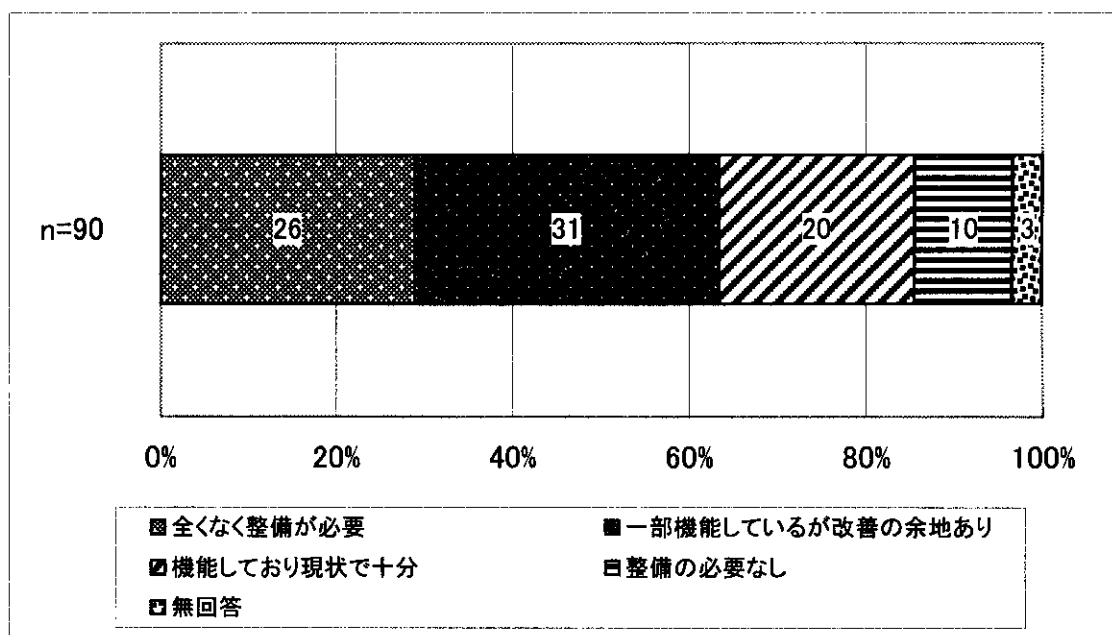
1 ヶ月間の院内眼科への紹介患者数は、「0人」が24.4%、「1~2人未満」「5人以上」がともに2.2%である。平均患者数は0.7人となっている。

Q 7 ① 医療機関の間の連携体制



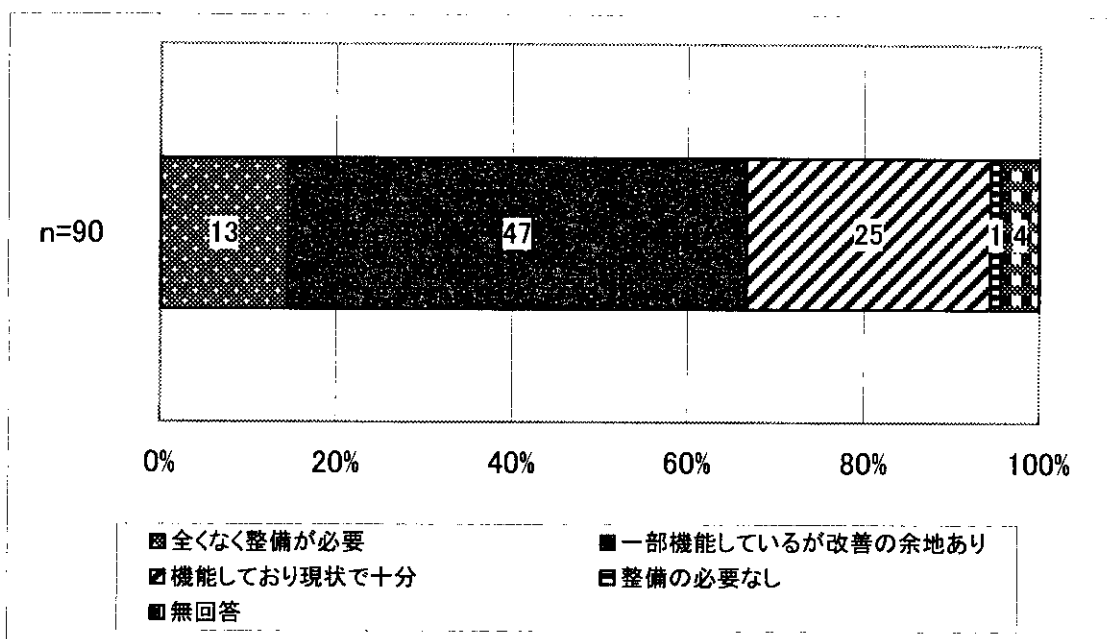
医療機関の間の連携体制については、「一部機能しているが改善の余地あり」が54.4%と半数を超え、次いで「機能しており現状で十分」が40.0%となっている。

Q 7 ② 統一した紹介状の作成



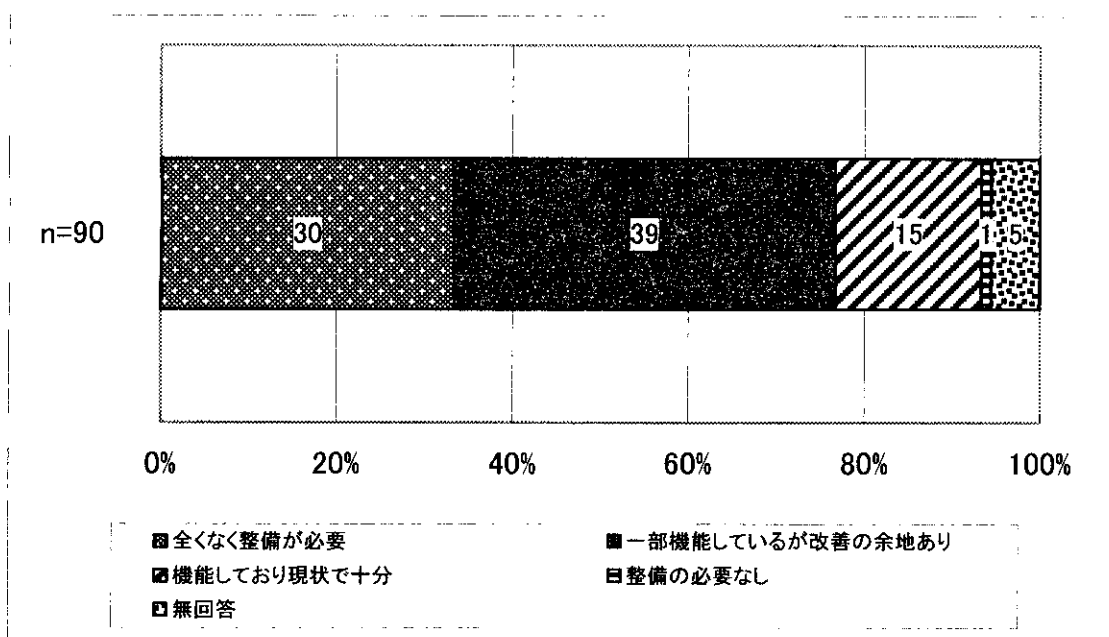
統一した紹介状の作成については、「一部機能しているが改善の余地あり」が34.4%と最も多く、次いで「全くなく整備が必要」が28.9%となっている。

Q 7 ③ 糖尿病の診療ガイドライン



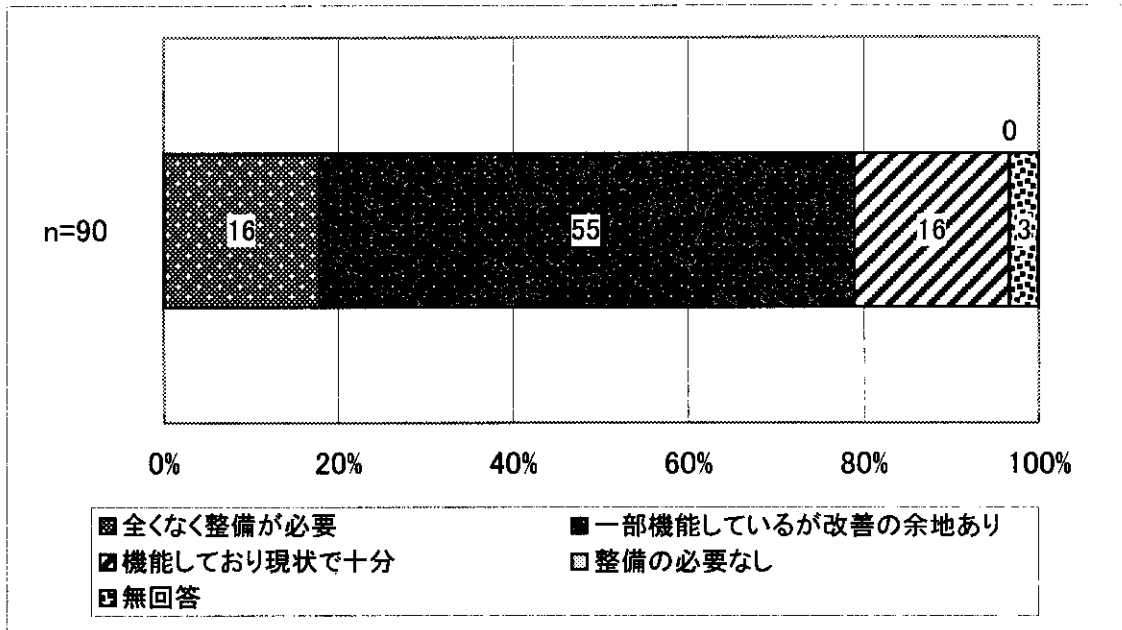
糖尿病の診療ガイドラインについては、「一部機能しているが改善の余地あり」が52.2%と約半数を占め、次いで「機能しており現状で十分」が27.8%となっている。

Q 7 ④ 医療機関、地域等での標準化された患者教育プログラム



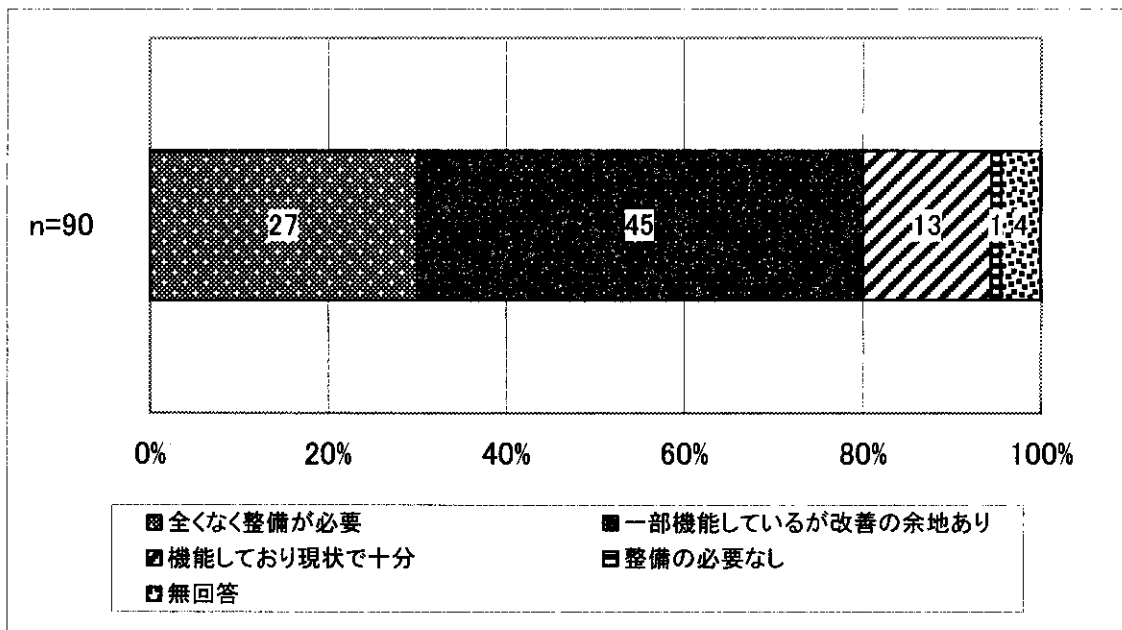
医療機関、地域、職場での標準化された患者の教育プログラムについては、「一部機能しているが改善の余地あり」が43.3%と最も多く、次いで「全くなく整備が必要」が33.3%となっている。

Q 7 ⑤ 内科医の網膜症予防に対する体制



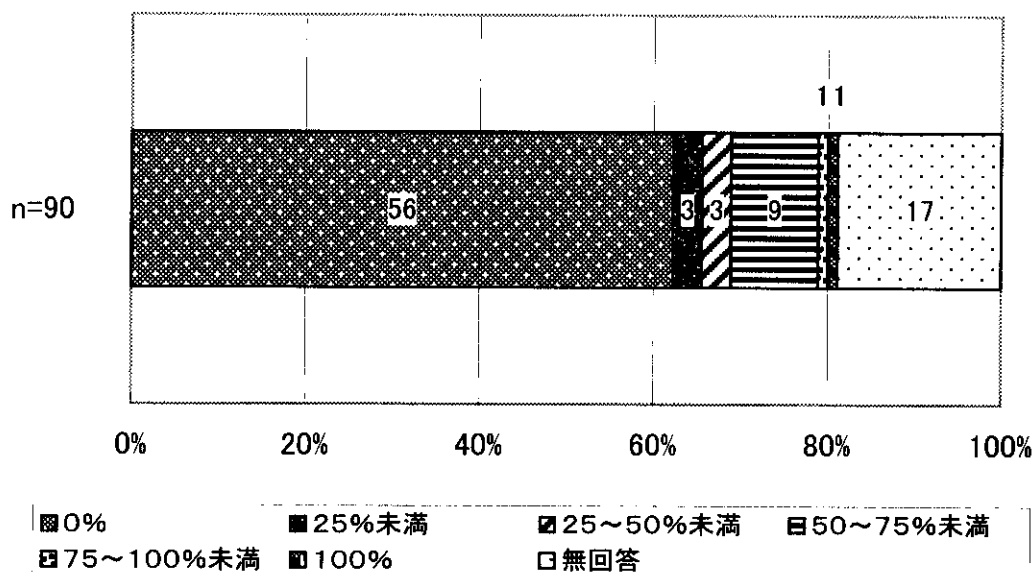
内科医の網膜症予防に対する体制については、「一部機能しているが改善の余地あり」が61.1%と最も多く、次いで「全くなく整備が必要」「機能しており現状で十分」がともに17.8%となっている。

Q 7 ⑥ 職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査



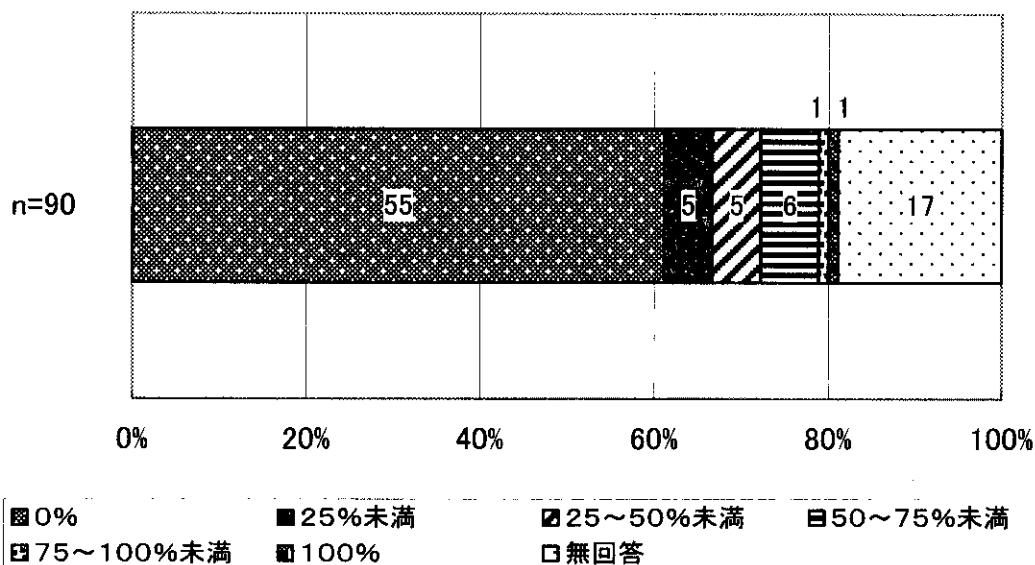
職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査については、「一部機能しているが改善の余地あり」が50.0%と半数を占め、次いで「全くなく整備が必要」が30.0%となっている。

Q 8 ① 口頭による眼科紹介の割合 調査数 平均
73 11.3



紹介状を特につけず、口頭により眼科へ糖尿病患者を紹介する割合は、「0%」が62.2%、「50~75%未満」が10.0%などとなっている。割合の平均は11.3%である。

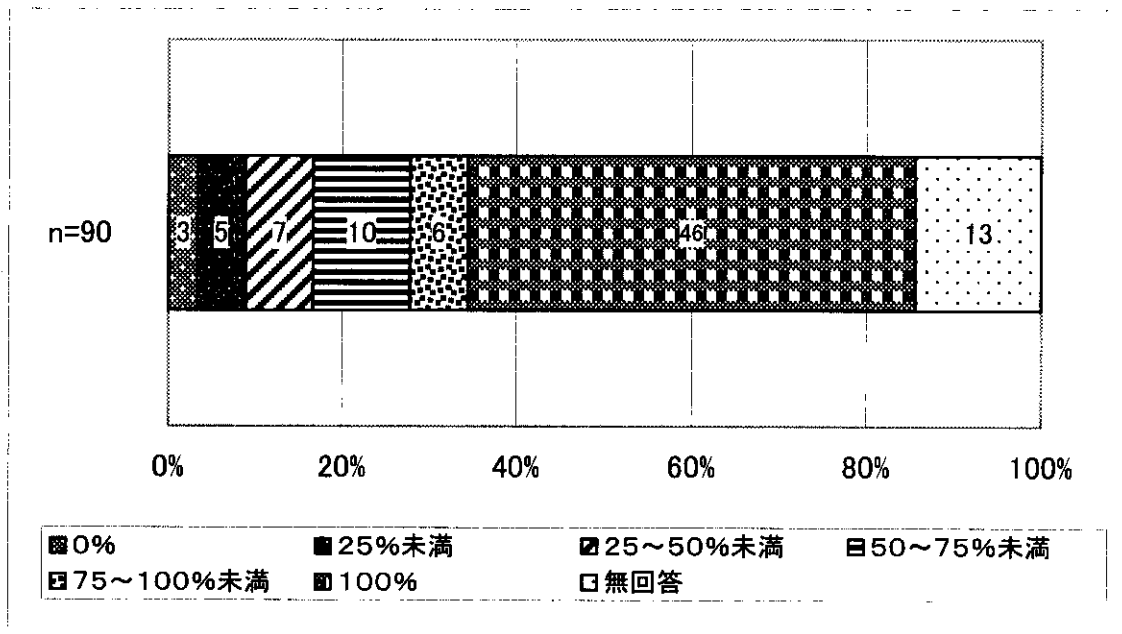
Q 8 ② 詳細情報をつけない紹介状による眼科紹介の割合 調査数 平均
73 9.8



紹介状はあるが、内科の詳細情報はつけないで糖尿病患者を紹介する割合は、「0%」が61.1%、「50~75%未満」が6.7%などとなっている。割合の平均は9.8%である。

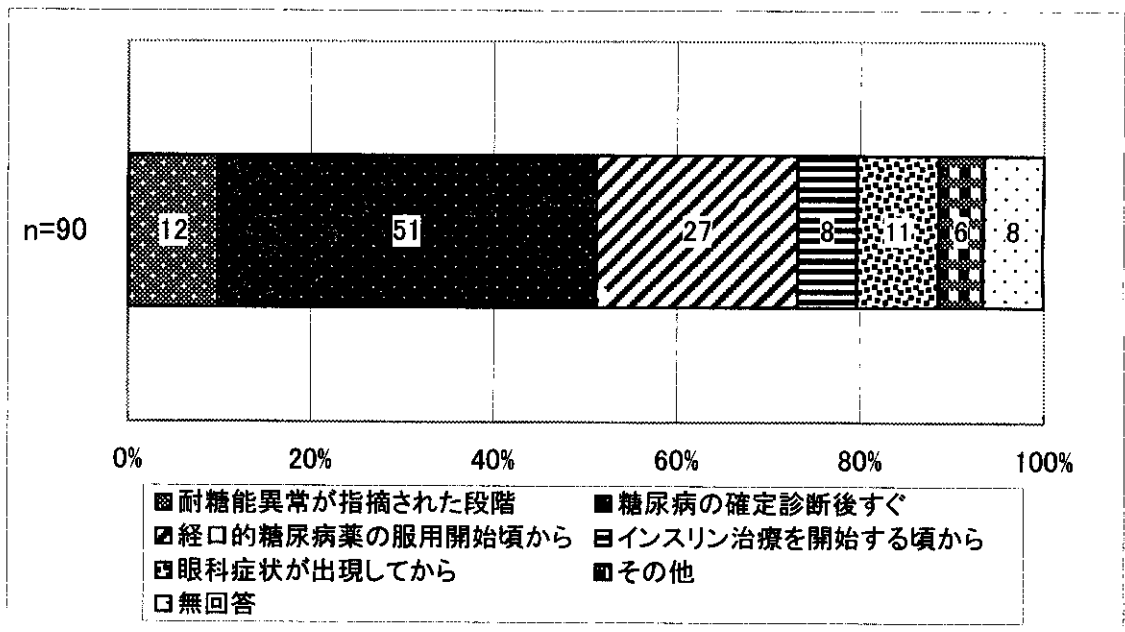
Q 8③ 詳細情報をつけた紹介状による眼科紹介の割合

調査数 平均
77 77.3



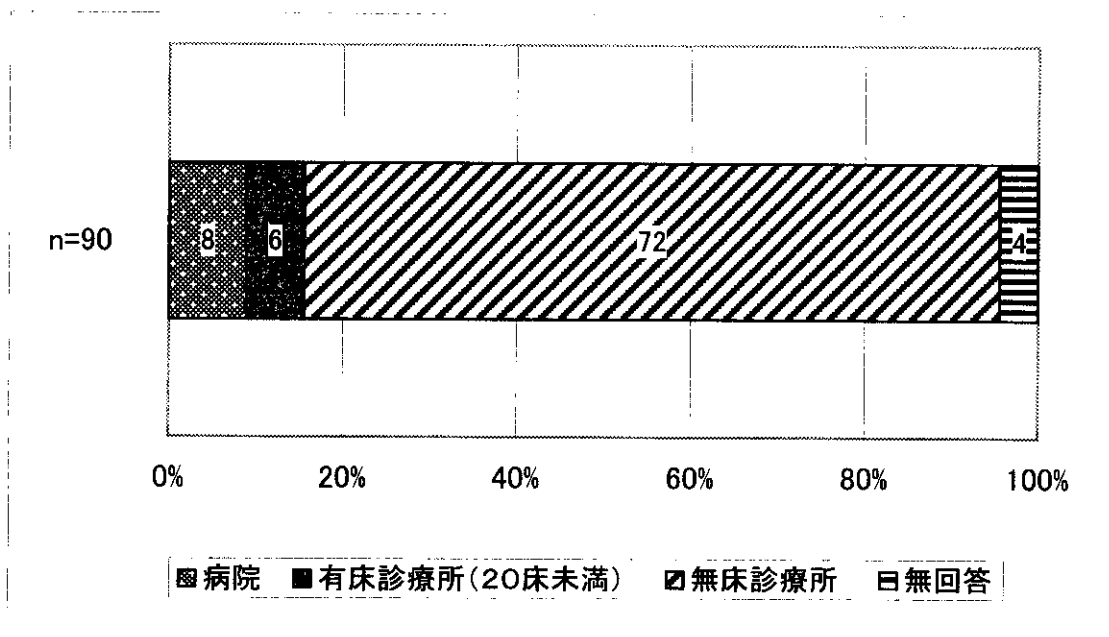
紹介状に内科の詳細情報をつけて糖尿病患者を紹介する割合は、「100%」が51.1%、「50~75%未満」が11.1%などとなっている。割合の平均は77.3%である。

Q 9 眼科医へ網膜症検査を依頼するタイミング



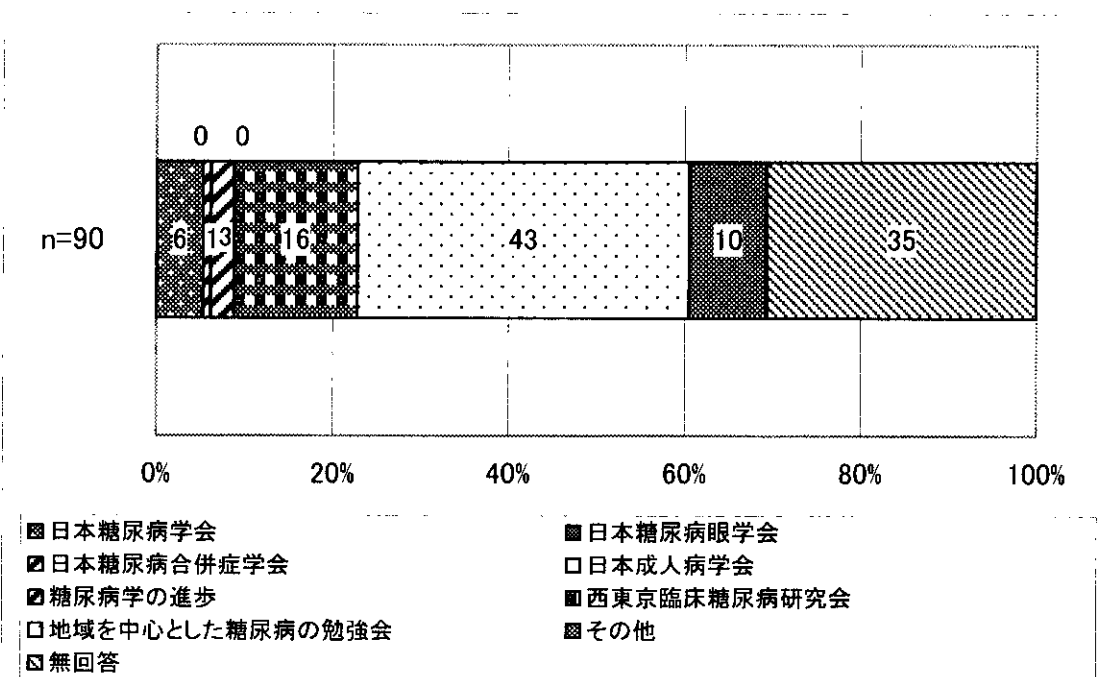
眼科医へ網膜症検査を依頼するタイミングは、「糖尿病の確定診断後すぐ」が56.7%と最も多く、次いで「経口的糖尿病薬の服用開始頃から」が30.0%、「耐糖能異常が指摘された段階」が13.3%などとなっている。

Q10 主な勤務先



回答した医師の主な勤務先は、「無床診療所」が80.0%と大半を占め、次いで「病院」が8.9%、「有床診療所（20床未満）」が6.7%となっている。

Q11 参加している勉強会、学会

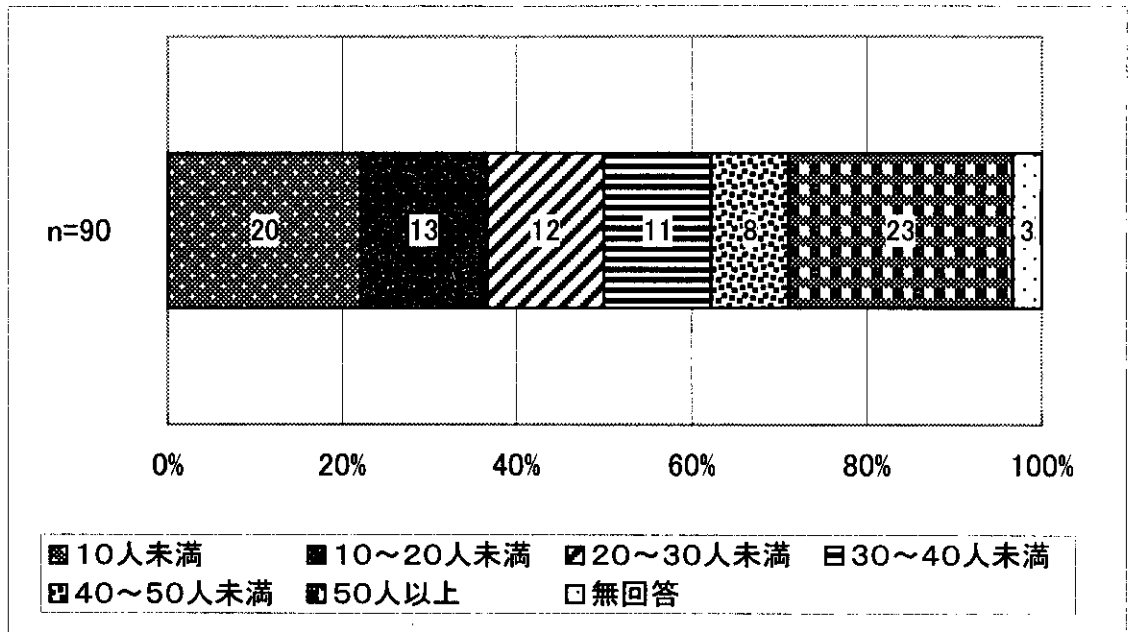


回答した医師が参加している勉強会、学会は、「地域を中心とした糖尿病の勉強会」が47.8%と最も多く、次いで「西東京臨床糖尿病研究会」が17.8%、「日本糖尿病学会」が6.7%などとなっている。

粗集計結果(眼科医)

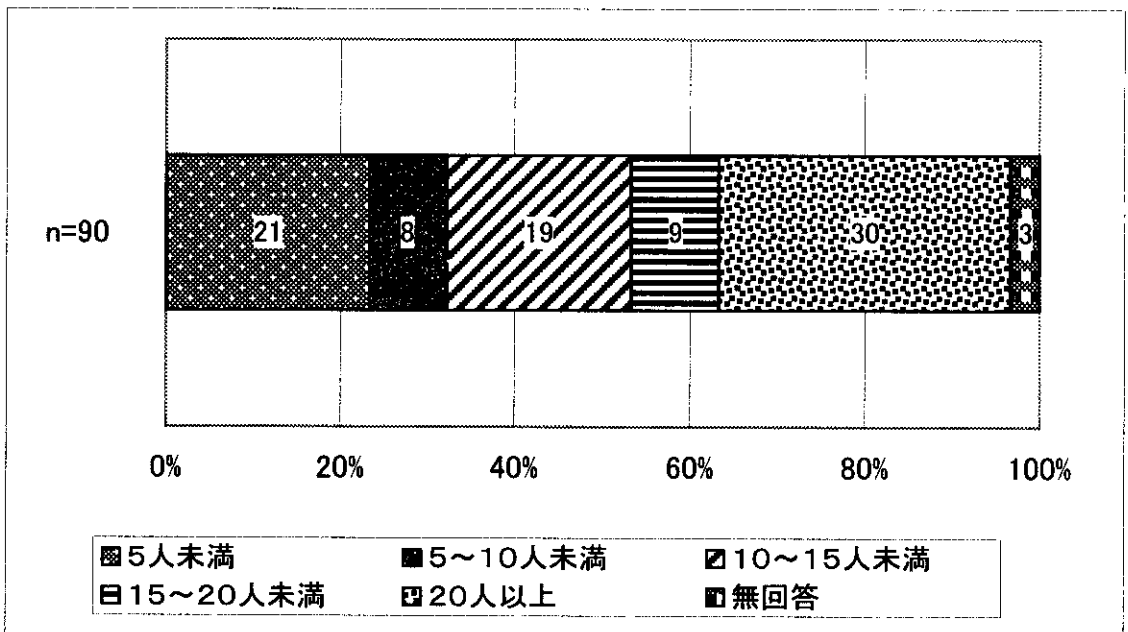
**** 糖尿病網膜症に関する調査（眼科医師） ****

Q 1 1ヵ月間の糖尿病網膜症患者数 調査数 平均
87 36.2



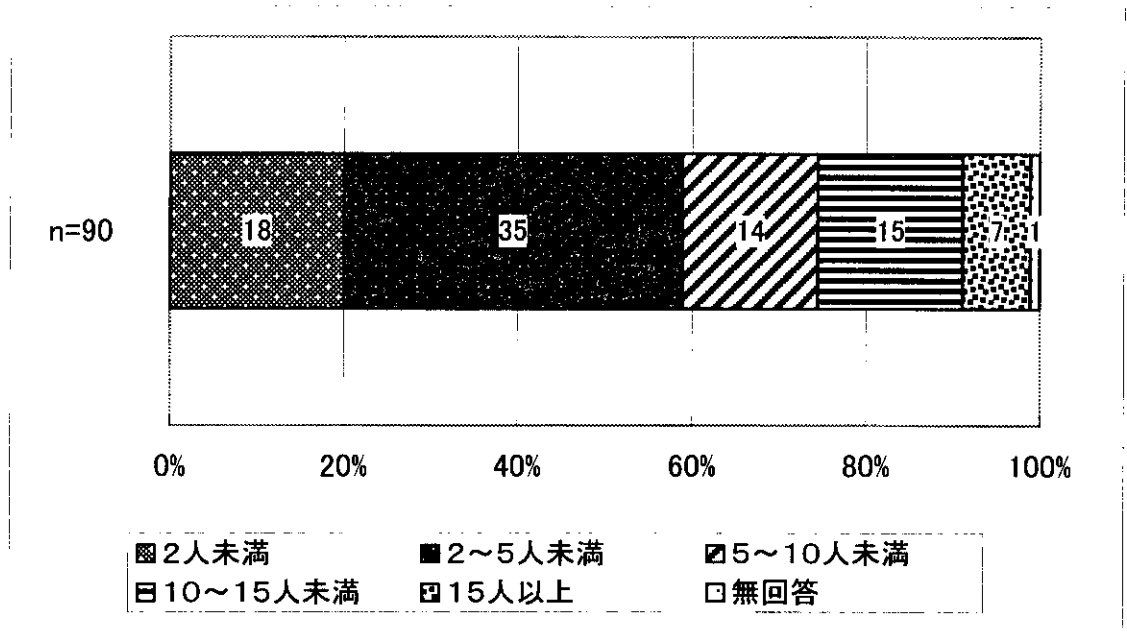
1ヵ月間に診療する糖尿病網膜症の患者数は、「50人以上」が25.6%、「10人未満」が22.2%、「10～20人未満」が14.4%などとなっている。平均患者数は36.2人である。

Q 2 1ヵ月間の網膜症予防等検査患者数 調査数 平均
87 16



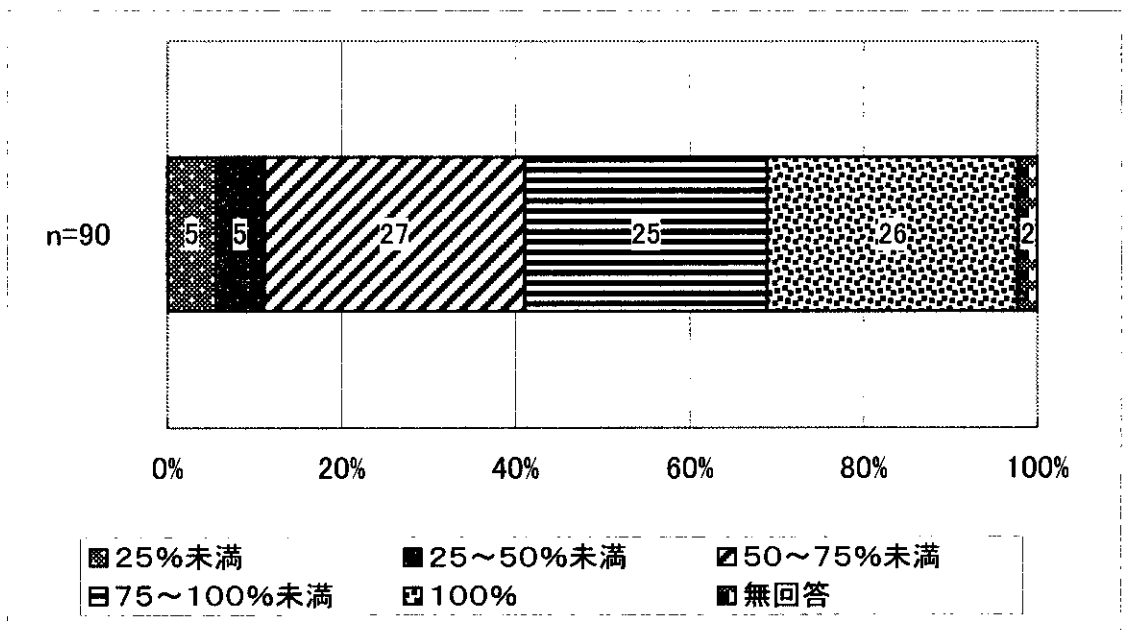
1ヵ月間に診療する、糖尿病網膜症には至っていないが網膜症予防等のために検査を行っている患者数は、「20人以上」が33.3%、「5人未満」が23.3%、「10～15人未満」が21.1%などとなっている。平均患者数は16.0人である。

Q 3 初めて眼科を受診する患者数 調査数 平均
89 7.8



1ヵ月間に診察する糖尿病患者のうち、初めて眼科を受診する患者数は、「2～5人未満」が38.9%、「2人未満」が20.0%、「10～15人未満」が16.7%である。平均患者数は7.8人となっている。

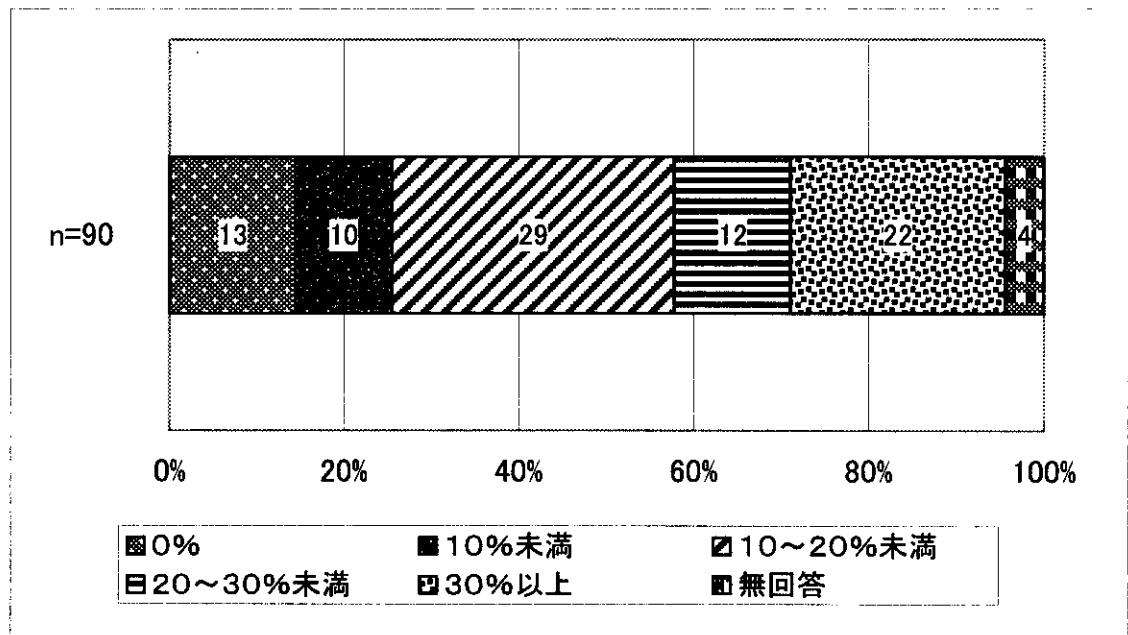
Q 4 内科の指示で来院する患者割合 調査数 平均
88 73



初めて眼科を受診する糖尿病患者のうち、内科からの指示により来院する患者の割合（1ヵ月当たり）は、「50～75%未満」が30.0%、「100%」が28.9%、「75～100%未満」が27.8%などとなっている。割合の平均は73.0%である。

Q 5 中等度以上の糖尿病網膜症の患者割合

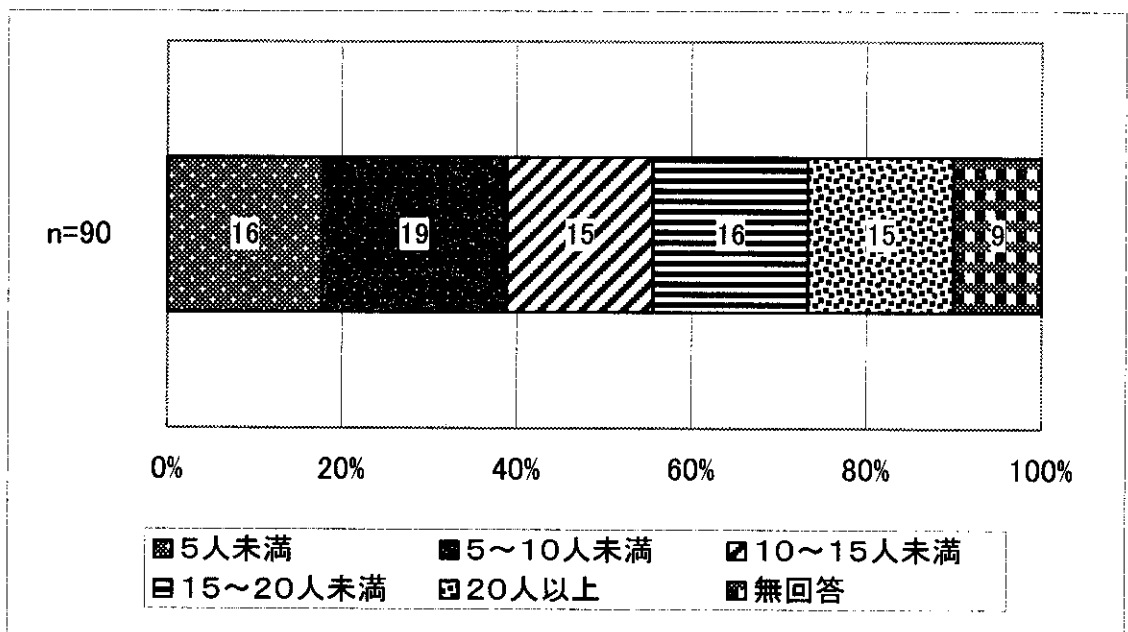
調査数 平均
86 19.4



初めて眼科を受診する新患の糖尿病患者のうち、初診時に中等度以上の糖尿病網膜症と診断される患者の割合（1ヵ月当たり）は、「10~20%未満」が32.2%、「30%以上」が24.4%などとなっている。割合の平均は19.4%である。

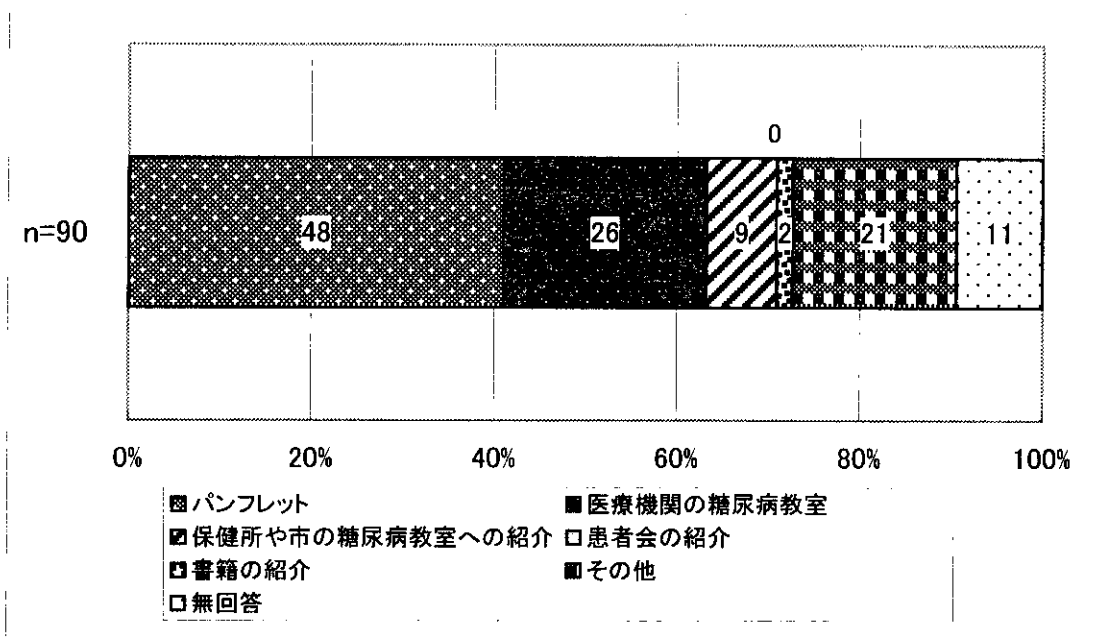
Q 6 調査期間内の糖尿病患者数

調査数 平均
81 12.3



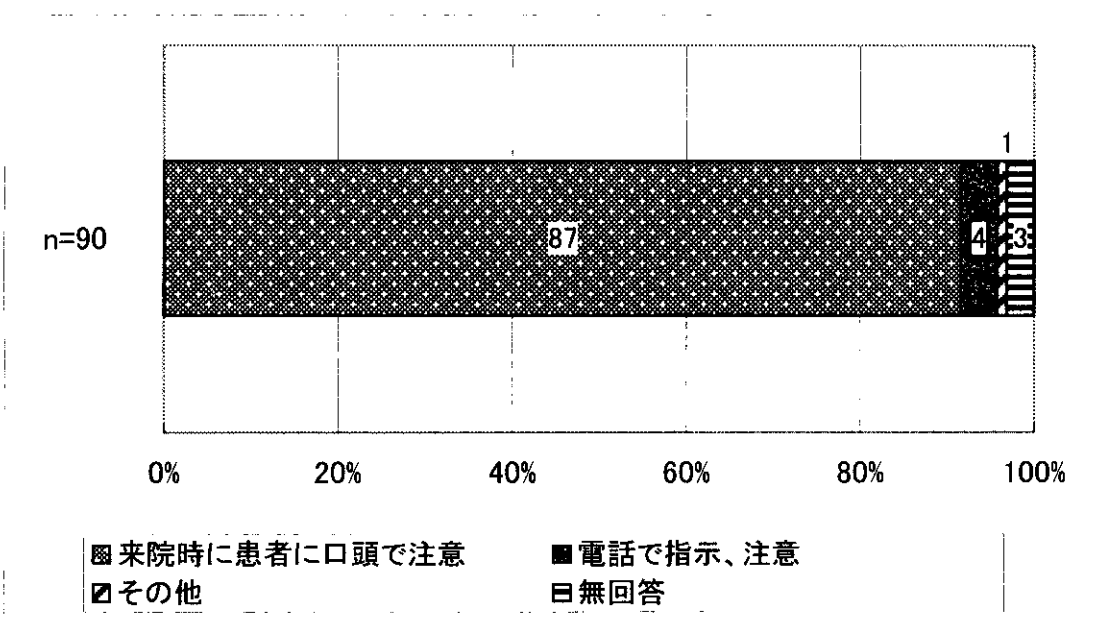
調査期間（3月12日~3月17日）内に診察した糖尿病患者数は、「5~10人未満」が21.1%、「5人未満」「15~20人未満」がともに17.8%などとなっている。平均患者数は12.3人である。

Q 7 糖尿病患者の教育方法



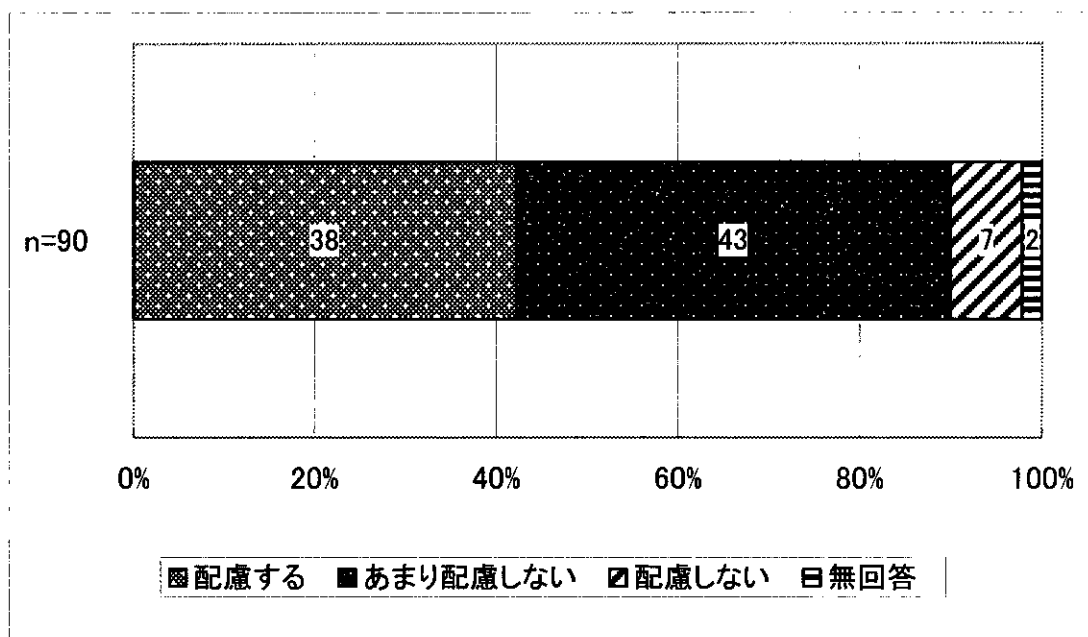
糖尿病患者の教育方法は、「パンフレット」が53.3%と最も多く、次いで「医療機関の糖尿病教室」が28.9%、「保健所や市の糖尿病教室への紹介」が10.0%などとなっている。

Q 8 定期的な通院や指示した治療を守らない患者への対処



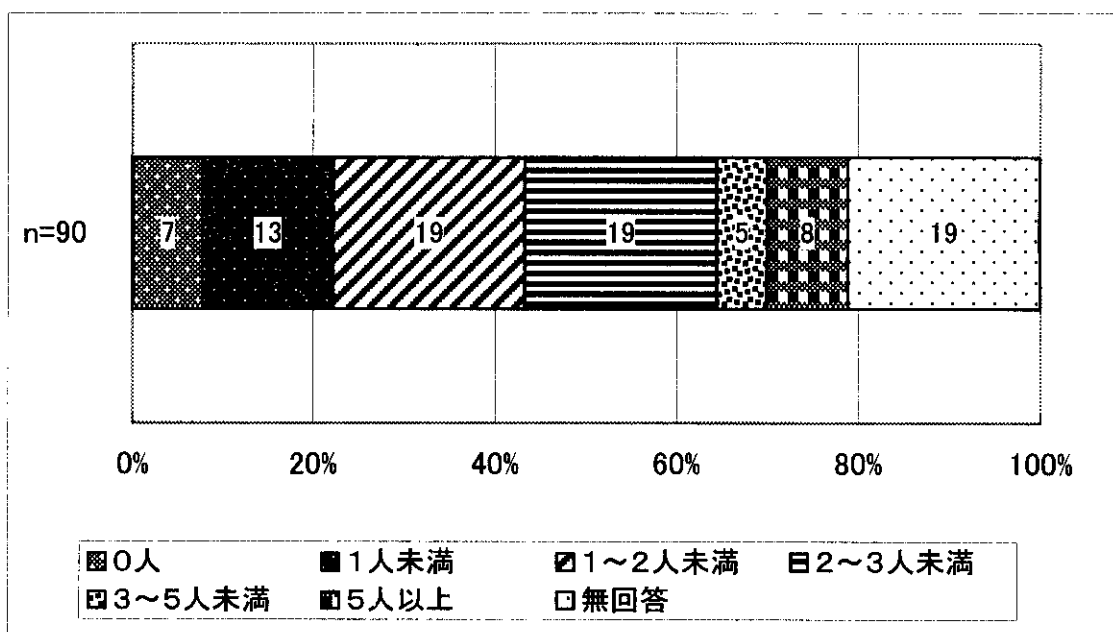
患者が定期的な通院や指示した治療を守らない場合の対処は、「来院時に患者に口頭で注意」が96.7%と多く、次いで「電話で指示、注意」が4.4%となっている。

Q 9 患者の家族に対する教育への配慮



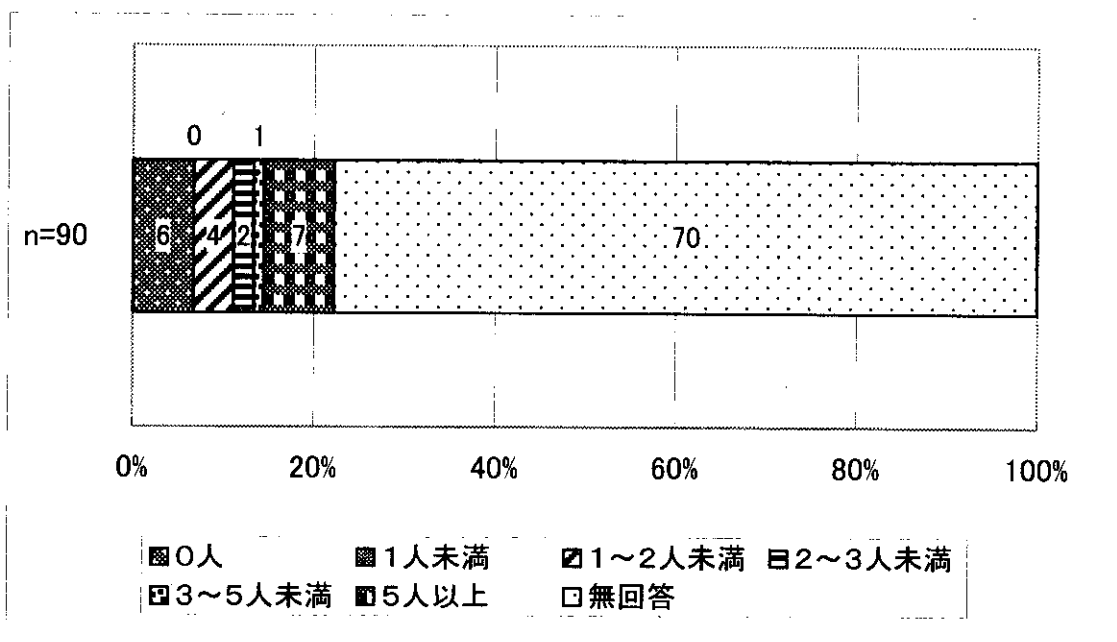
患者に教育する場合、家族に対する教育にも配慮するか否かについては、「あまり配慮しない」が47.8%と約半数を占め、「配慮する」の42.2%を上回っている。

Q 10 ① 1ヵ月間の他院内科への紹介患者数 調査数 平均
71 2.2



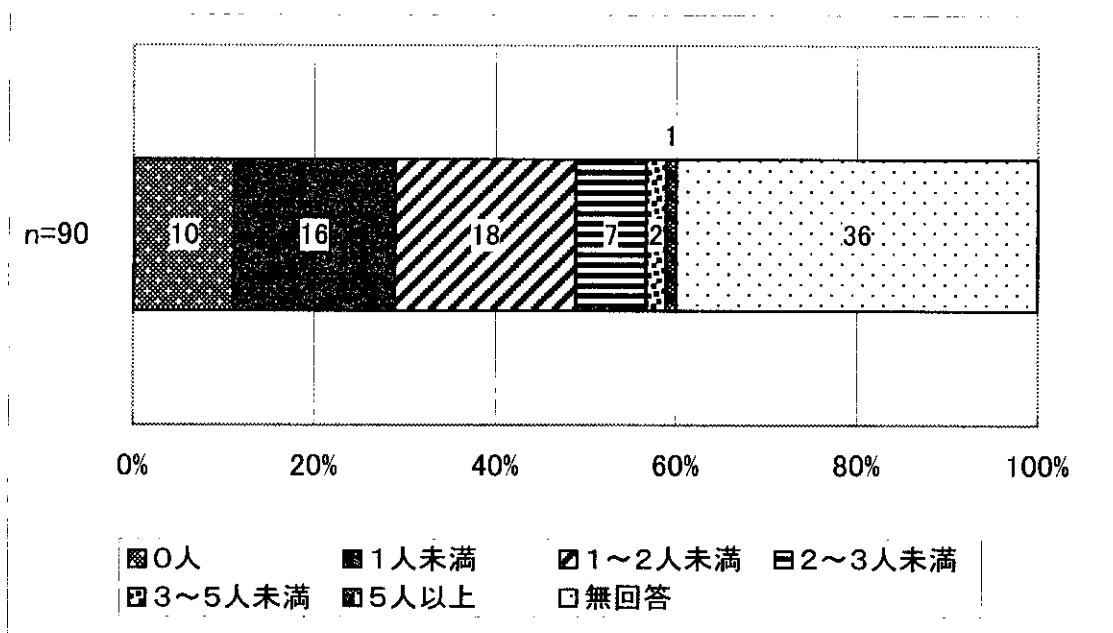
1ヵ月間の他院内科への紹介患者数は、「1~2人未満」「2~3人未満」がともに21.1%、「1人未満」が14.4%などとなっている。平均患者数は2.2人である。

Q10② 1ヵ月間の院内内科への紹介患者数 調査数 平均
20 2.7



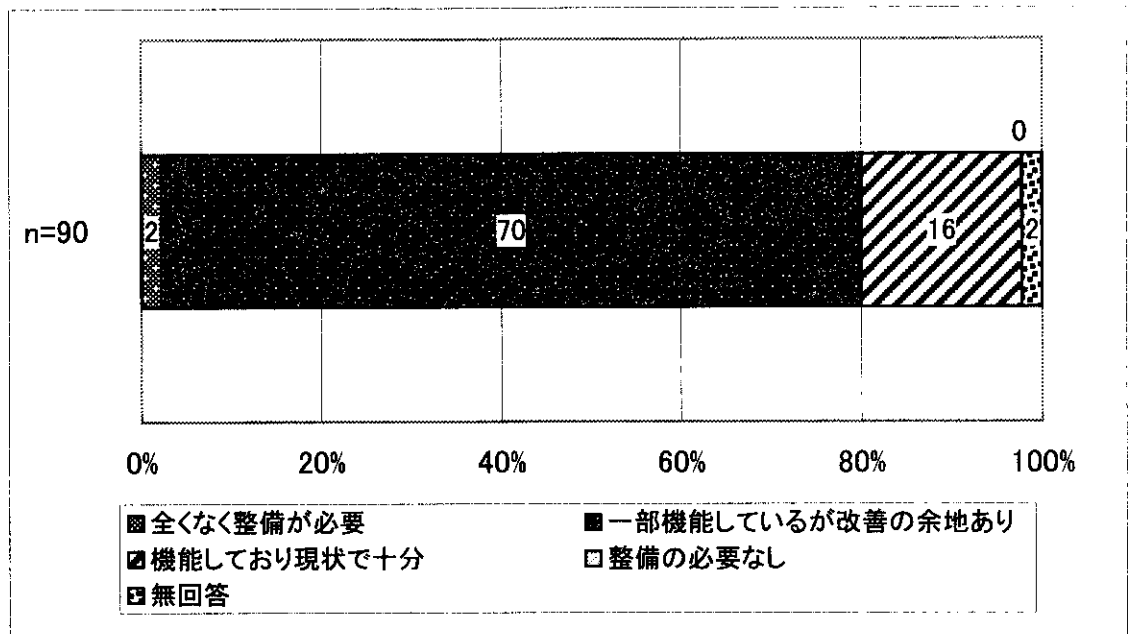
1ヵ月間の院内内科への紹介患者数は、「5人以上」が7.8%、「0人」が6.7%、「1～2人未満」が4.4%などとなっている。平均患者数は2.7人である。

Q10③ 1ヵ月間の他院眼科への紹介患者数 調査数 平均
54 1



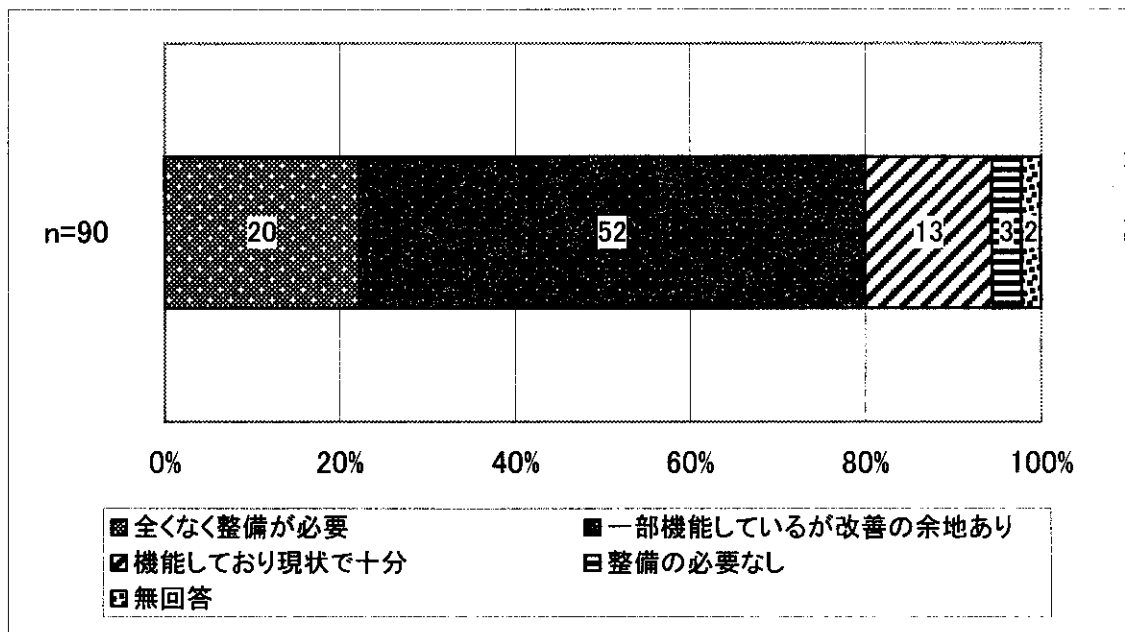
1ヵ月間の他院眼科への紹介患者数は、「1～2人未満」が20.0%、「1人未満」が17.8%、「0人」が11.1%などとなっている。平均患者数は1.0人である。

Q 1 1 ① 医療機関の間の連携体制



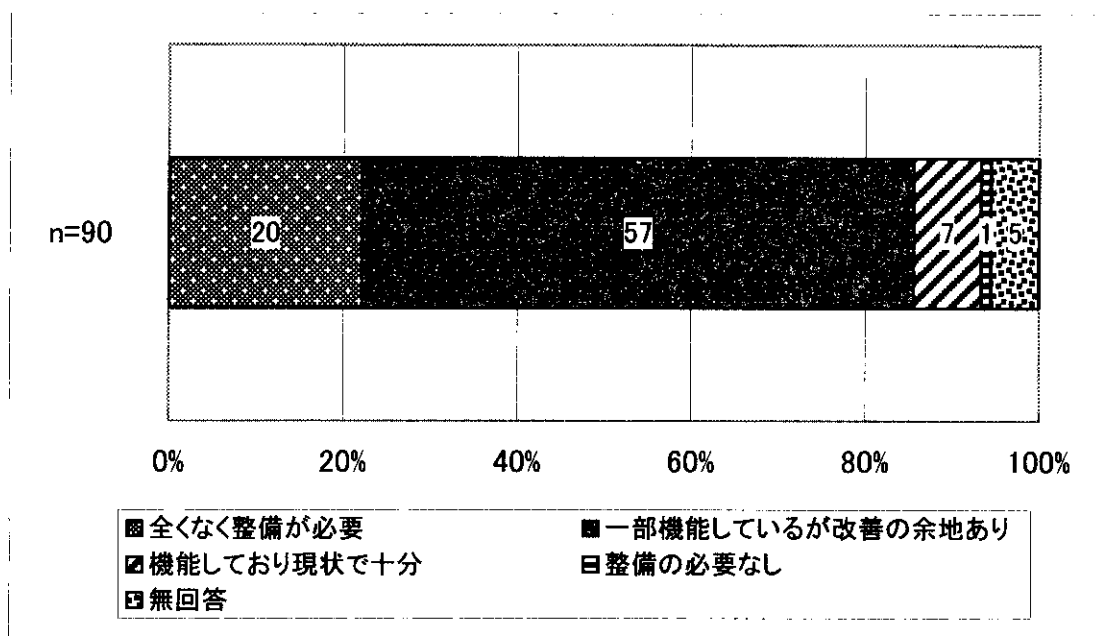
医療機関の間の連携体制については、「一部機能しているが改善の余地あり」が77.8%と最も多く、次いで「機能しており現状で十分」が17.8%となっている。

Q 1 1 ② 統一した紹介状の作成



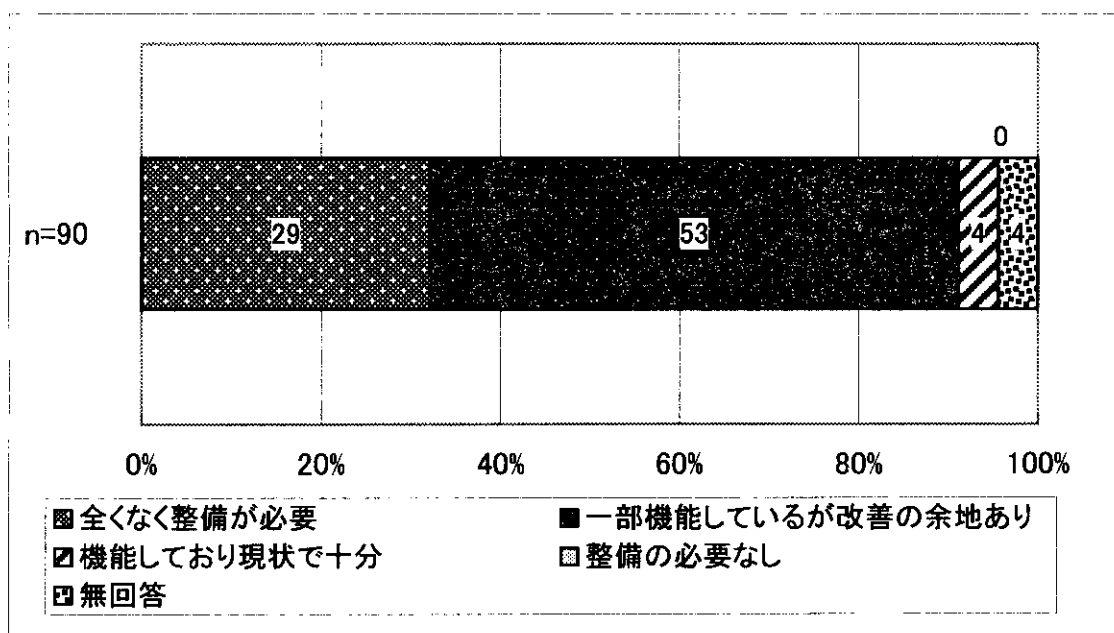
統一した紹介状の作成については、「一部機能しているが改善の余地あり」が57.8%と最も多く、次いで「全くなく整備が必要」が22.2%となっている。

Q 1 1 ③ 糖尿病の診療ガイドライン



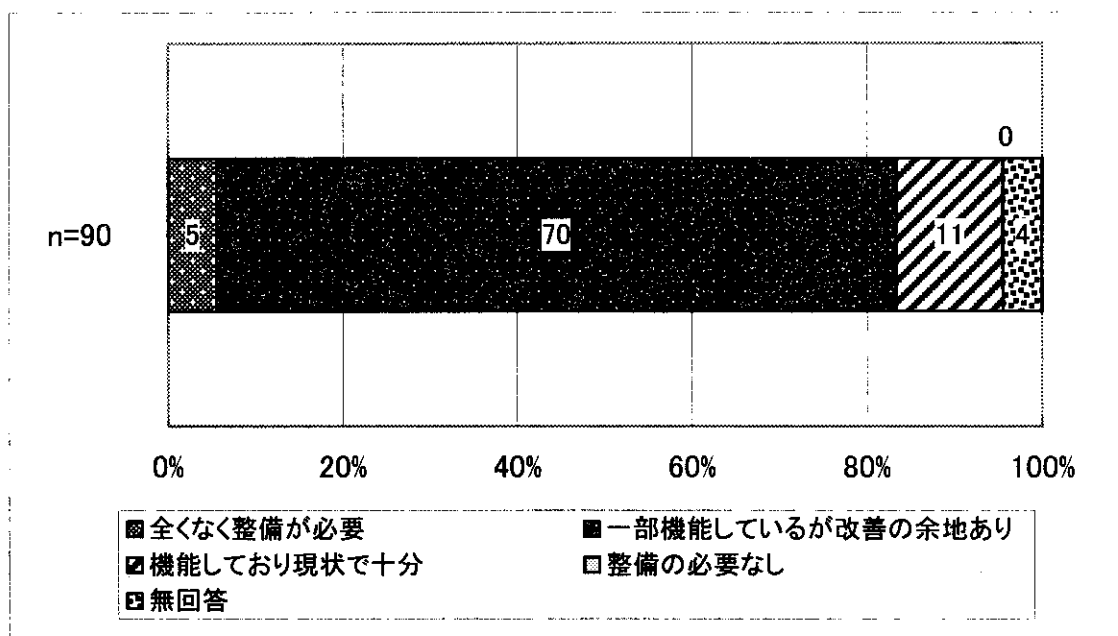
糖尿病の診療ガイドラインについては、「一部機能しているが改善の余地あり」が63.3%と最も多く、次いで「全くなく整備が必要」が22.2%となっている。

Q 1 1 ④ 医療機関、地域等での標準化された患者教育プログラム



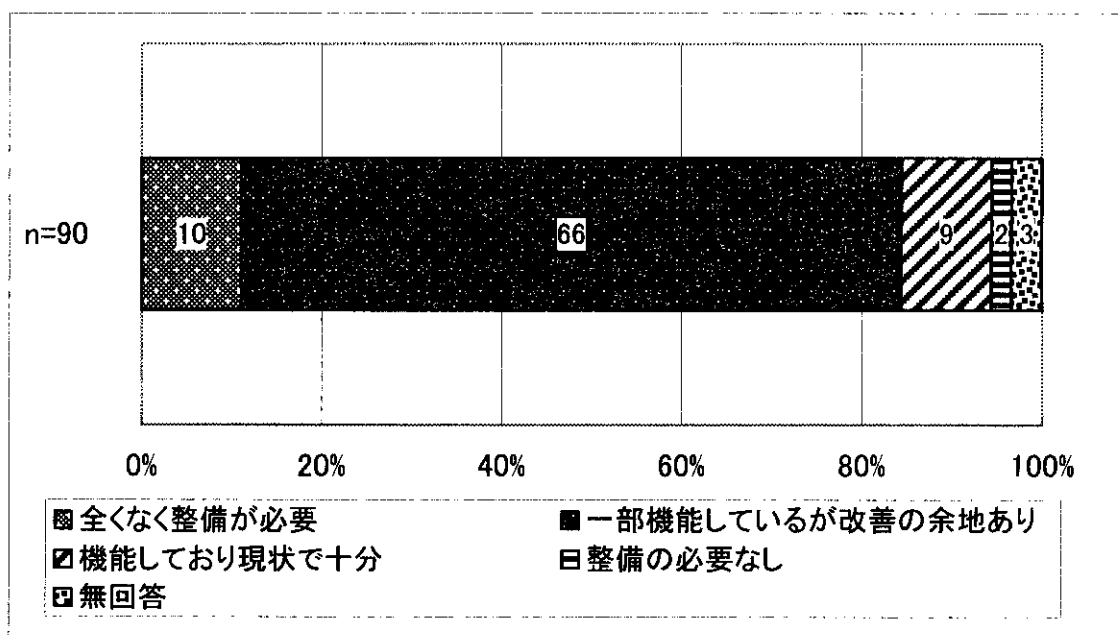
医療機関、地域、職場での標準化された患者の教育プログラムについては、「一部機能しているが改善の余地あり」が58.9%と最も多く、次いで「全くなく整備が必要」が32.2%となっている。

Q 1 1 ⑤ 内科医の網膜症予防に対する体制



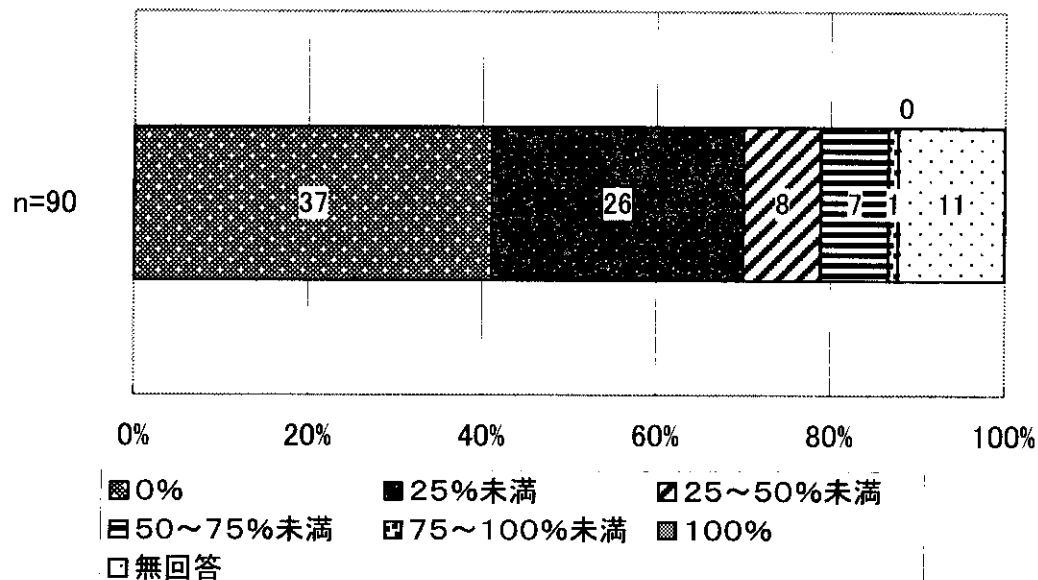
内科医の網膜症予防に対する体制については、「一部機能しているが改善の余地あり」が77.8%と最も多く、次いで「機能しており現状で十分」が12.2%となっている。

Q 1 1 ⑥ 職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査



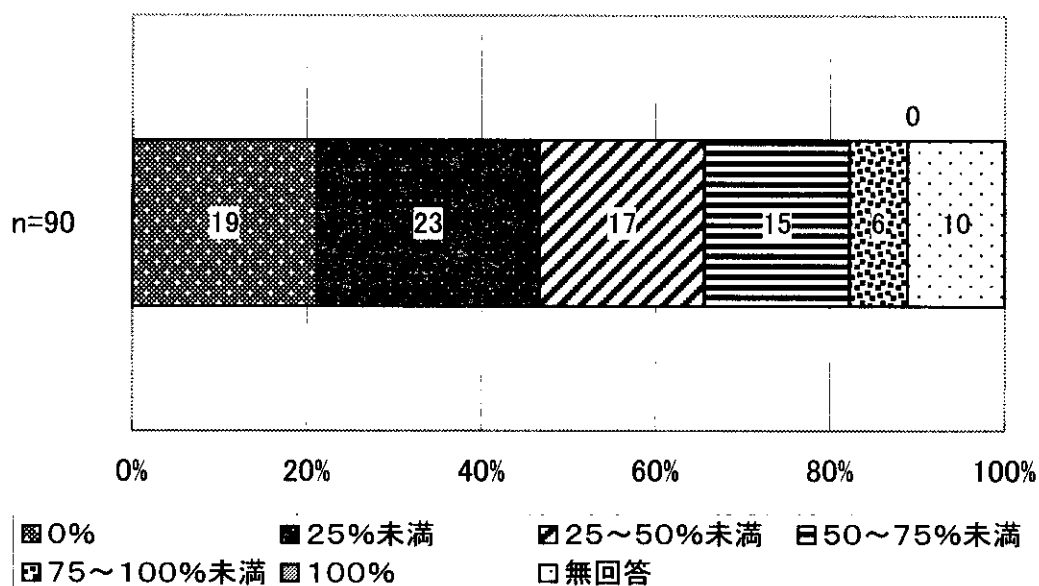
職場や地域の検診における糖尿病網膜症検査については、「一部機能しているが改善の余地あり」が73.3%と最も多くなっている。以下「全くなく整備が必要」が11.1%、「機能しており現状で十分」が10.0%とほぼ同数である。

Q 1 2 ① 口頭による紹介の割合 調査数 平均
79 13.3



紹介状を特につけず、口頭により内科から糖尿病患者を紹介される割合は、「0%」が41.1%、「25%未満」が28.9%などとなっている。割合の平均は13.3%である。

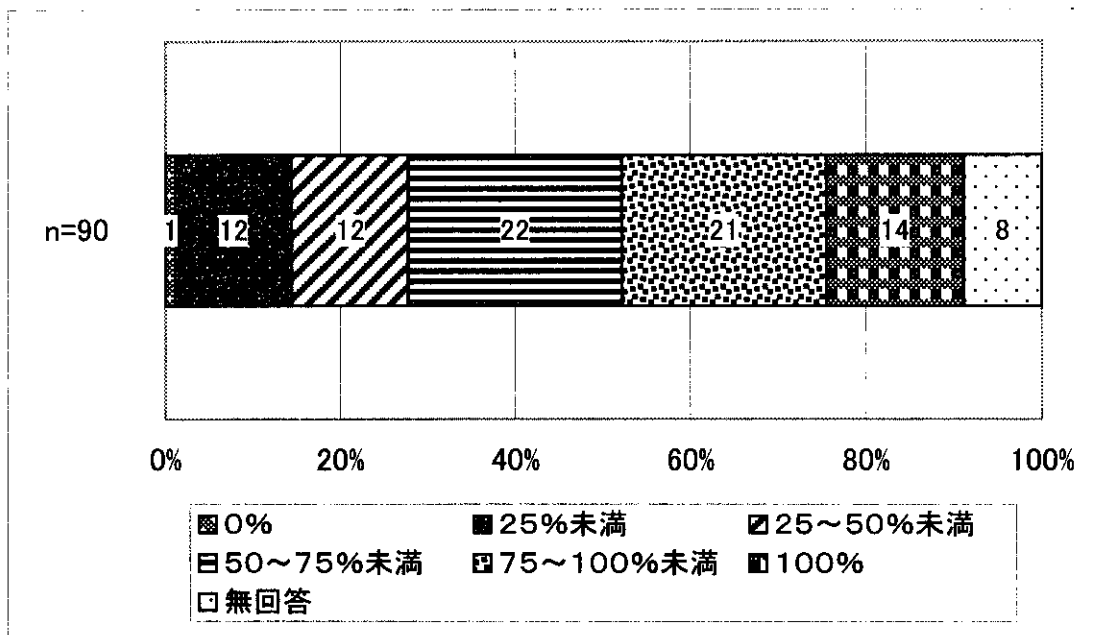
Q 1 2 ② 詳細情報をつけない紹介状による紹介の割合 調査数 平均
80 28



紹介状はあるが、内科の詳細情報はつけずに糖尿病患者を紹介される割合は、「25%未満」が25.6%、「0%」が21.1%、「25~50%未満」が18.9%などとなっている。割合の平均は28.0%である。

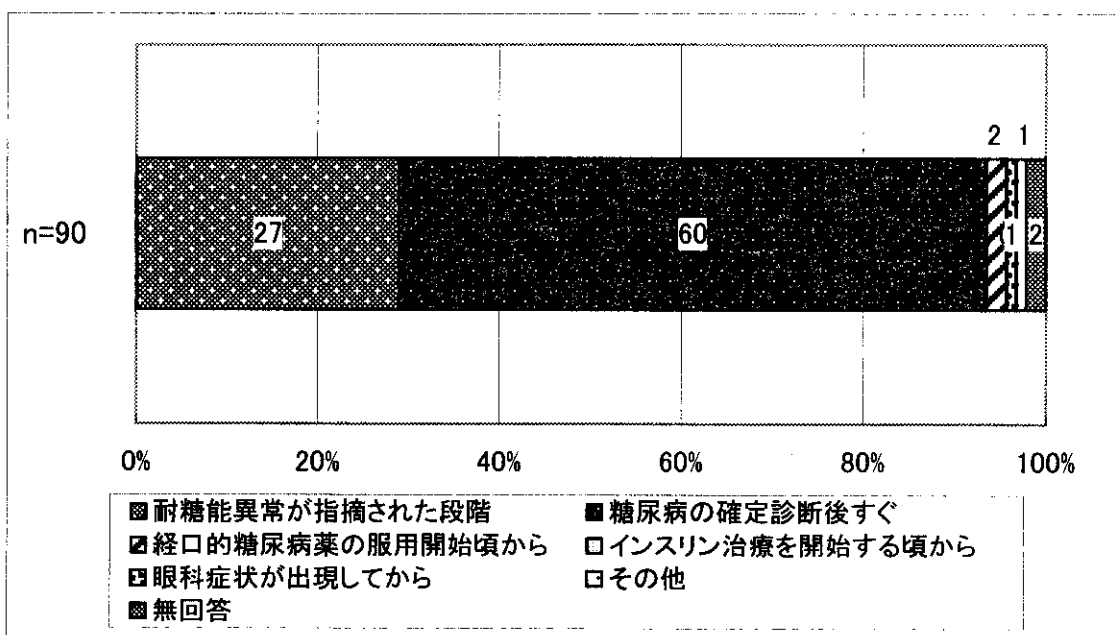
Q 1 2 ③ 詳細情報をつけた紹介状による紹介の割合

調査数 平均
82 60.4



紹介状に内科の詳細情報をつけて糖尿病患者を紹介される割合は、「50~75%未満」が24.4%、「75~100%未満」が23.3%などとなっている。割合の平均は60.4%である。

Q 1 3 網膜症検査のために適切な紹介時期



網膜症検査のため、内科医から眼科医への適切な紹介時期については、「糖尿病の確定診断後すぐ」が66.7%と最も多く、次いで「耐糖能異常が指摘された段階」が30.0%などとなっている。